

令和2年度 第2回公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 令和2年11月10日(火) 10:00～11:30
- 場 所 多目的ホール(Webexによるオンライン会議)
- 出席者 江崎信芳委員、宇佐美誠委員、尾室高志委員、片木威委員、田中仁成委員、山本仁志委員、今井正和委員、遠藤由美子委員、小林朋道委員、矢野順治委員、[10名/11名]
- 欠席者 田村文男委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 令和3年度予算編成方針(案)について

事務局から、令和3年度予算編成方針(案)について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・SDGsの今後の展開として、地域と連携して地域課題解決に向けた取り組みができないか。
→SDGs推進本部を中心に、地域連携の部分について今後検討し、実行していく。
- ・オンラインでの遠隔授業について、今一度メリット・デメリットを整理し、今後の授業展開に生かしてみてもどうか。
→遠隔授業で培ったスキルを活かすことができれば、非常勤講師等の幅も広がり今まで出来なかった授業を展開できると考えている。遠隔授業をコロナ禍における対面授業の代替ではなく、新しいツールとして捉えて、活用を検討したい。

(2) 公立鳥取環境大学名誉教授称号授与について

江崎学長から、公立鳥取環境大学名誉教授称号授与について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・特になし

3 報告事項

(1) 専任教員の採用及び昇任について

江崎学長から、専任教員の採用及び昇任について報告があった。

(2) 機関別認証評価の現地調査について

事務局から、機関別認証評価の現地調査について報告があった。

(3) 補正予算の専決について

事務局から、補正予算の専決について報告があった。

(4) 鳥取県内出身学生学生生活支援給付金制度の廃止検討について

事務局から、鳥取県内出身学生学生生活支援給付金制度の廃止検討について報告があった。

〈主な意見等〉

- ・コロナ禍で経済状況が厳しい中、県内の高校生や保護者へマイナスイメージを与えるのではないかと。代替案の検討及び理由説明をし、県民に十分理解してもらう必要がある。
→費用対効果、コロナ禍の経済状況、県民の反応等を十分考慮し、幹部会構成員で今後、代替案を検討していく。

(5) 公立大学法人公立鳥取環境大学令和元年度業務実績評価書について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学令和元年度業務実績評価書について報告があった。

(6) 公立大学法人公立鳥取環境大学環境方針の一部改正について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学環境方針の一部改正について報告があった。

(6) 新型コロナウイルス感染症対策の状況について

事務局から、新型コロナウイルス感染症対策の状況について報告があった。

(7) 近況報告

事務局から、入試、就職活動など大学の近況について報告があった。

5 閉 会